（2023年12月26日付・下野新聞１面）　記事は加工しています

NIEもっけワークシート　下野新聞

192

中学生向け

年組

教員採用倍率 過去最低

欠員続出 現場にしわ寄せ

あの手この手で確保策

教員採用試験の競争率がまた過去最低を更新した。人気低迷は教員不足に直結する問題。産育休や病気休職で生じた欠員を埋められない事態が続出し、子どもの学びやカバーする教員にしわ寄せが及ぶ。文部科学省はあの手この手の教員確保策を講じるが、「□職場」のイメージがついた教員の人気回復には課題が山積する。

▽支障

「精神的な理由で2人休んでいる。代わりが来るめどは立っていない」。東京都の公立小で勤務する女性教諭はこう語る。発達障害の子らが通常学級に在籍しながら必要に応じて別室で学習する「通級指導」の担当だが、現在は通常学級の一部教科の授業も受け持つ。

支援が必要な子と関わる時間を減らさないようにと思っても、本来の仕事に支障は出る。「やりがいはあるし、『教員にならなければ良かった』なんて思わない。でも、体も心も壊すような環境を改善しない限り、志望者は増えない」と話す。

別の女性教諭の小学校でも、産休に伴って来年1月から欠員が出る見通しだ。2クラスを習熟度別に3グループに分けている算数の授業は困難になる。「勉強が苦手な子には少人数授業が大切なのに、かなわなくなる」と悔しさをにじませる。

▽競争

文科省調査によると、20

主な教員確保策

- 2024年度の教員採用試験の1次試験は6月16日を標準としてなるべく早める
- 複数回の試験日程を設け、大学3年生も受験可能にする
- 一定期間は特定の地域のみで勤務できる「地域枠」の創設
- 教員免許を持ちながら教職に就いていない人への研修会実施

21年度当初に全国の公立小中高校などで計約2500人の教員が不足。23年度当初でも1年前より状況が「悪化した」と回答した都道府県・政令指定都市教育委員会が4割に上った。産育休などで生じた欠員は、採用試験に不合格となった「教員の卵」を講師として臨時採用するなどして埋めてきたが、競争率低下で枯渇気味だ。

人材確保は、採用活動が早期化する民間企業との競争でもある。文科省は5月、試験を約1カ月前倒しし、24年度の1次試験は6月16日を標準とするよう各教委に求めた。大学4年次の7～8月の試験を続ければ、内々定が早い民間企業に対抗できないとの危機感が背景にある。

各教委も思いは同じで、茨城県や静岡県は標準より早い5月中に試験を実施する方針を打ち出した。他でも、試験の一部を大学3年で受験可能にしたり、教員免許を持ちながら教職に就いていない人の発掘に取り組んだりと□が続く。

▽残業

教員給与特別措置法（給特法）に基づき、教員には残業代の代わりに月給4％相当の「教職調整額」が支給されている。これが長時間残業につながり、「定額働かせ放題」との批判も上がる。

都内の公立小で勤務する30代教諭は「企業で働く友人の給与は私の倍近い。残業代が支払われるようになれば、一生懸命働いた分だけ報われると学生にアピールできるのではないか」と訴える。

中教審で教職調整額の在り方や手当創設などが議論されており、来春に一定の方向性が出る見通しだが、文科省内には、財源などを理由に残業代を支払う制度への転換は困難との意見が強い。

教員採用に詳しい八尾坂修（おさむ）・九州大名誉教授（教育行政学）は「教員が残業しなくてよい環境の整備が急務で、それには人を増やすといった抜本的な対策も必要だ。自治体だけでは限界があり、地域差を生まないためにも、国が主導してやるべきだ」と強調した。

設　問

【1】空欄に当てはまる、過酷な労働環境を表す外来語を、次の選択肢から選びましょう。

（ア）ホワイト　（イ）イエロー　（ウ）レッド　（エ）ブラック

【2】記事の内容に合う選択肢を一つ選びましょう。

（ア）2023年度当初、１年前よりも教員採用の状況が改善したと回答した都道府県、政令指定都市教育委員会は６割に上った。

（イ）2024年度の教員採用試験の１次試験は、従来より時期を遅らせて実施することにより、応募者の増加が期待されている。

（ウ）　月給の４％にあたる「教職調整額」が支給されることにより、教員の志望者が一層増加することが期待されている。

（エ）教員確保のために、大学３年生で採用試験を受けられるようにする自治体もある。

【3】教員の欠員が生じる要因として、記事中に取り上げられているものにはどんなものがありますか。

【4】「挑戦や失敗を繰り返しつつ、成功に近づこうとすること」という意味を持つ、空欄に当てはまる四字熟語を漢字で正確に書きましょう。

【5】文中に登場する次の漢字の読みをひらがなで書きましょう

（1）枯渇　（2）報われる　（3）抜本的

出題・監修は宇河地区中学校教育研究会国語部会・小嶋陽介（こじまようすけ）宇都宮市鬼怒中教諭